

No	質問	回答
Q1	ノンモンの定義を教えてください。 (セミナー後に補足あり：ラウドネス計測には0.4秒が必要であるため、今回の0.1秒では-70LKFS以下を計測する対応が困難なためです。)	実務上は「-60dB以下」としてください。 【補記】ラジオCMの本編開始終了に設定する無音区間（ノンモン）について民放連技術規準T032では無音（-70LKFS以下）としていますが、ラジオCMにおける無音区間の最小値「0.1秒」への適用は困難です。CMとCMの音声がつながらず聴きやすい放送を届けるために、無音区間は聴感上で違和感のない音圧レベル（dB）の閾値を便宜上「-60dB以下」と設定します。
Q2	ラジオ音声のビットデプスはいくつになりますか？	16ビットです。ラジオCM素材搬入基準では、CM音声ファイル録音基準の項目で「量子化レベルは16ビット」としています。
Q3	頭とお尻のノンモンの尺は揃えないといけないのでしょうか？	開始と終了のいずれも「0.1秒以上0.5秒以下」を守る必要はありますが、同じ長さに揃える必要はありません。
Q4	既に搬入済みの旧フォーマットのファイルデータのまま、再アップする際にラジポスのサイト上で切り出す、という意味でしょうか？	その通りです。今後の並行運用期間中に、広告EDIセンターにてRadi Posへの機能実装を計画しています。
Q5	基準に近いラウドネスでお送りして、自動で調整ということでしょうか？	全く外れていても自動調整は可能ですが、基準に近い素材の方が変化のリスクは少ないです。 Radi Pos上でラウドネス値を測定し、基準通りに作られている場合は自動調整はスキップし、基準から外れた場合に調整するかどうかの選択肢が提示されます。自動調整後に検聴して、品質に懸念があればアップロードを止めることも可能です。
Q6	ラウドネスに関して質問です。現行基準で送稿されたCM素材は自動でラウドネス値調整されるのでしょうか？	現行基準で完成済のCM素材にはラウドネス値の規定は適用されません。ラウドネス値の自動調整の対象にはなりません。
Q7	現行基準納品と新基準納品のオンエアのレベルに違いはあるのでしょうか？	いずれのCMも放送局の運行の基準に従ってオンエアされますので、現行基準か新基準かによるレベルの違いは生じないものと想定しています。
Q8	ノンモンはデジタルゼロがマストでしょうか？	デジタルゼロはマストではなく、実務上は「-60dB以下」としてください。Q1の回答もご覧ください。
Q9	旧基準の搬入済みデータを再アップロードし、切り出した新基準対応のデータは2025年11月以降も新基準対応データとして利用可能なのでしょうか？あくまでも暫定措置なのか、新基準対応の新素材として使い続けることが出来るのでしょうか？	切り出して新基準対応のCM素材として完成させていれば、2025年11月以降も新基準対応のCM素材として利用可能です。
Q10	ノンモンの自動生成がなされるとのことですが、隙間がなければRadiPosで変換出来ないとありました。ノンモンの自動生成は何をしてくださる機能なのでしょうか。隙間とはノンモン以外の間を指しているのでしょうか？	本編中のどこかを詰めてノンモンを作るような自動生成機能はありません。本編の開始終了に合算して0.2秒以上の無音部分があれば、開始と終了のいずれも「0.1秒以上0.5秒以下」となる位置に有音部分を配置する自動調整機能が、今後Radi Pos上に計画されています。
Q11	現行の音源を新基準に変換できる機能がいつリリースされるか？によっては新基準の音源が準備できないのですが、いつ予定でしょうか？	時期は明言できませんが、2025年11月間近ということではなく、並行運用期間中の早いうちを目指して開発しているとのことです。
Q12	今まではフレームレート30でしたがそのままでしょうか？	ラウドネス規定の導入、無音部分の設定、ラジオCM素材ファイルの構成の変更、この3点が素材に関する変更なので、それ以外の点は従来通りです。 (フレームレートは映像の用語のためラジオCMには規定がなく、ここではサンプリングレート（周波数）と解釈して従来通りである旨を回答しています。)
Q13	0.5秒以上のノンモンはNGになってしまいますか？	「0.1秒以上0.5秒以下」なので「0.5秒」は基準内です。「0.5秒を超過」した場合はNGです。
Q14	ラウドネスの調整方法はこういった処理を行いますか？	RadiPos上では、ソフトウェアの設定を目標ラウドネス値(L=-24.0LKFS±1.0dB)、トゥルーピーク値(TP=-1.0dBTP)、ラウドネスレンジ(LRAの設定なし)として運用開始の予定です。オリジナルCMの音量差はそのまま維持（トゥルーピークが越えたら補正）しつつ、全体としてはラウドネス値の範囲に収まるように補正するよう意図しての設定です。設定値の検討にあたり民放連技術規準T032「テレビ放送における音声レベル運用規準」を指針としました。
Q15	手動で切り出さない場合、ノンモンの尺は自動で設定されますか？それとも00:00の位置を認識してくれるのでしょうか？	確認したところ、無音部分を判定して均等に前後に配するなどの自動設定機能のリリースが計画されています。

No	質問	回答
Q16	いわゆるリミッターで処理でしょうか？	Q14の回答をご覧ください。
Q17	頭0.2秒、後0.6秒無音がある場合、調整できますか？NGとなりますか？	初期段階の11月1日時点の機能では、この例はNGになります。後日、無音区間の位置を調整できる機能がリリースされると考えています。Q15の回答をご覧ください。
Q18	ノンモンが0.1～0.5秒と幅を持たせている理由はなんですか？テレビCMでは前後15fと決まっているのですが。	下限の0.1秒は、連続してOAされるラジオCM間の0.2秒の無音により聴感上の問題が解決されている実績を踏まえました。0.5秒という上限を設けたのはテレビCM用の音声を活用する場合を想定したためです。また、現行基準ではCMの長さは既定の秒数以内、かつ1秒以上短くしないことになっています。現行基準で制作した1秒未満の不足があるCMを新素材に転換する可能性も考慮しています。
Q19	推奨PDFは縦書き必須でしょうか？また、画像貼り付けのPDFは不可でしょうか？	縦書き横書き、両方の参考様式が用意されています。使いやすい方をお使いください。フォーマットのワードファイルにスクリプト部分を画像貼り付けし、それをPDFにすることも可能です。なお、スクリプトを貼り付けて完成ではなく、CM情報の部分も記載してください。